

Indeedの最新ポリシー違反の 「実態」とは？

アカウント停止から復活までを徹底解説

講師紹介

澤田 有佑

株式会社クロスリンク 取締役



- **2013年** NTTソフトウェア株式会社 入社
インフラエンジニアとしてシステム構造や論理的思考を習得。
- **2015年** 株式会社Nesting 設立
金融業界での広告運用 (年1億円)やSNSマーケティング(100万フォロワー)を獲得。
また、SEOのロジックについても徹底的に研究。
- **2016年** 株式会社クロスリンク 入社
Webマーケティングを求人領域へ転用。Indeed代理店事業の立ち上げを牽引
(シルバープラスランク獲得)。
- **現在**
企業の「採用」に特化したコンサルティング・広告運用、オウンドメディア運営、
AIツールによる業務効率化に従事。

本資料に関するご案内



情報の時点について

本資料に掲載されているIndeedのポリシーや関連法規に関する情報は、2026年1月時点のものです。



ポリシーの更新について

Indeedの掲載ルールやアルゴリズムは順次アップデートされるため、最新の状況とは異なる場合があります。

内容はクロスリンクの独自見解となりますのでご了承ください。

本日のアジェンダ

- 1  コンプライアンスと法改正の潮流
- 2  Indeedにおける3段階のリスク
- 3  通知の実態と対応の難しさ
- 4  停止リスクの全体像
- 5  公式ポリシー違反の詳細
- 6  法令違反の詳細
- 7  運用リスクと対策
- 8  復活フローと予防策

コンプライアンスとは

Compliance (コンプライアンス) = 「法令遵守」

でも、それだけじゃないんです

今の時代の隠れた意味は…

「世の中の期待」に応えることです。

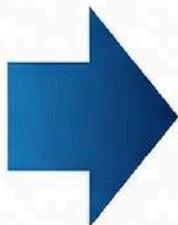
求人において、それは「**求職者の期待を裏切らない**
(=嘘をつかない) こと」に他なりません。

求人は信頼性がより重視される時代へ

2024年 職業安定法の改正ポイント

BEFORE

- ✔ 「詳細は面接でOK」
- ✔ 「多少の誇大表現は許容」



AFTER

- 📄 「労働条件の明示範囲拡大」
- 📄 「虚偽記載・誇大広告への取締強化」

コンプライアンス軽視のリスク



Indeed

アカウント**停止**・**永久凍結**。

法律面

行政指導・勧告、悪質な場合は**刑事罰**・**企業名公表**。

なぜIndeedのルールは「法律より厳しい」のか？

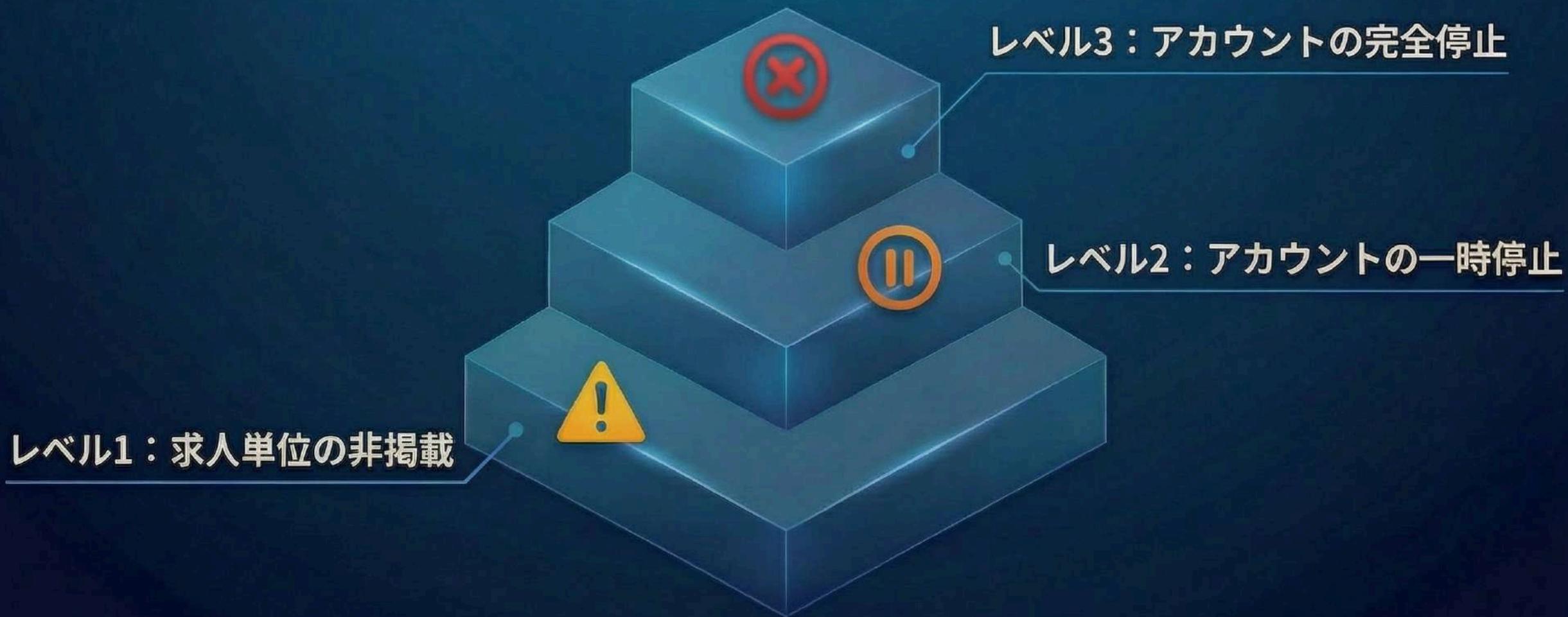
2階 (Top Layer): Indeed独自の掲載基準

-  目的: 求職者の使いやすさ・信頼性。
-  内容: 重複禁止、職種名の制限など。

1階 (Foundation): 日本の法律

-  目的: 労働者の権利保護。
-  内容: 職安法、労基法など。
-  現実: 無視すると行政指導・罰則。

クロスリンクが定義する3段階のリスク



Level
1

レベル1：求人単位の非掲載



状態

- ・特定の求人のみが検索結果から除外。
- ・アカウント自体は生きている。



原因

- ・軽微な違反。
- ・例：NGワード、年齢制限。



通知

- ・「通知なし」が基本。
- ・気づかないうちに発生。



発覚

- ・「最近応募が減った」と感じて初めて気づく。

レベル2：アカウントの一時停止（詳細）

Level 2



状態

- アカウント内の**全求人**が**非掲載**。



通知と性質

通知

- 警告メール「掲載ポリシーを確認してください」。

性質

- 迅速かつ誠実な対応で復活の可能性あり。



Key Message

「改善の意思」
を示すことが**鍵**。

レベル3：アカウントの完全停止



状態: アカウント永久凍結

原因: 悪質な違反の繰り返し・警告無視 など

結果: 全求人が非掲載

復活: **絶望的**。絶対に避けるべき最悪のケース。



なぜIndeedは詳細理由を開示しないのか？

違反箇所は不明



- アカウント停止の連絡：
具体的な違反箇所は指摘されず、
「掲載ポリシーを確認してくだ
さい」のみ。



高度な推測力



- 運用者に求められる「推測力」：
ポリシーリストから違反箇所を
「推測」する必要がある。
- 難易度：違反は1箇所とは限らず、
経験則が必要。

停止リスクの全体像 - 3大要因



① 公式ポリシー違反

Indeed独自の掲載基準
(スパム行為、透明性の欠如)



② 法令遵守・ コンプライアンス不備

日本の法律違反
(年齢制限、差別的表現)



③ 運用・ クライアント要因

自社採用リスク
(通報、応募後の無反応)



公式ポリシー違反 (1/2) - スпам行為

1. 勤務地バリエーション



実勤務地は1箇所なのに
複数都市で掲載。

2. 職種名バリエーション



同一職種を職種名だけ
変えて複数掲載。

3. マルチチャンネル重複



直接投稿とATSで
同じ求人を掲載。

4. リポスト



新着表示狙いの
「削除→即再掲載」。

公式ポリシー違反 (2/2) - 透明性とその他



透明性の欠如

- 包括的な募集：
「全職種募集」「随時募集中」など具体性がない求人はNG。 NG
- 雇用主名の非公開：
「某大手企業」などの伏せ字は不可。 NG



目的外利用

- 人材バンク登録：
具体的な採用枠がない登録目的の掲載はNG。 NG



アカウント運用の整合性

- 区分不一致：
「直接雇用」アカウントで「派遣」求人を掲載するのはNG。 NG



法令違反 (1/3) - 年齢制限の禁止

労働施策総合推進法

原則禁止



NG表現：「35歳まで」「若手歓迎」
「20代・30代歓迎」

年齢による制限は法律で禁止。

例外 (長期キャリア形成)



条件： 1. 期間の定めのない労働契約
2. 職業経験不問

注意：有期雇用 (派遣・契約) では一切不可。

法令違反 (2/3) – 差別的表現の禁止

男女雇用機会均等法・職業安定法・労働基準法



1. 性別差別

NG: 「営業マン」「女性歓迎」「男性向き」「事務レディ」「保母」



2. 居住地差別

NG: 「近隣の方歓迎」
(最近増加傾向)



3. 国籍差別

NG: 「外国人不可」
「○○語のネイティブ」



4. 身体・生活差別

NG: 「健康な方」
「体力に自信のある方」

法令違反 (3/3) - 労働条件の明示義務

労働基準法・職業安定法

固定残業代の3点セット

- ✓ 1. 基本給（固定残業代を除く）
- ✓ 2. 固定残業代の金額・時間
- ✓ 3. 超過分の追加支給

1つでも欠けると掲載停止



最低賃金：
地域別最低賃金を下回らないこと。



社会保険：
加入の有無を明記。



その他：
試用期間、受動喫煙対策、
契約期間。

派遣法違反

労働者派遣法

事前面接の禁止



- 派遣先による「面接」「選考」は禁止。
- 面接を示唆する表現もNG。

許可される行為



- 「職場見学」のみ可能。
- 双方の合意形成が目的。

運用・クライアント要因 (1/2) - 求職者からの通報

応募者対応の不備が招くリスク

応募後の無反応



- 応募への返信なし。
- 疑念: 「おとり求人ではないか？」。
- 結果: Indeedへ通報。

情報の不一致



- 面接条件 ≠ 求人票。
- 疑念: 「虚偽記載」。
- 結果: トラブル・通報。

求職者クレームのリスク



運用・クライアント要因 (2/2) - 最悪の違反

他社アカウント流用 = 即時アカウント停止



違反行為

- 自社アカウント停止中に、他社やグループ会社のアカウントを借りて掲載。

リスク

- 「個人情報の不正流用・目的外利用」とみなされる。
- 即時アカウント停止 (完全停止) の対象。
- 法的リスク: 個人情報保護法違反の可能性。

求人媒体特有のリスク

構造的に抱える3つの課題

1. 情報の陳腐化



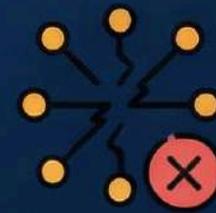
- 採用課金モデルの罠。
- 募集終了求人への放置
→ 「おとり求人」判定。

2. クライアントの誤解



- 「勝手に載っている」という通報。
- 本社依頼を現場が知らないケース。

3. 応募対応不備



- クライアントの無反応。
- 媒体アカウント全体の評価低下。

アカウント一時停止からの復活フロー



「改善の実施は小出しにせず、1回目でできる限り
実行・報告する」というスタンスが重要。

アカウント停止を防ぐ具体的対策



AI活用と 法令遵守

- 知識のアップデート
- AIによる網羅的
チェック



ポリシー遵守

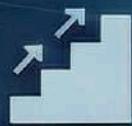
- 1求人1採用枠
- 重複・リポスト禁止
- おとり求人・横流しの禁止



体制づくり

- 応募者の早め対応
- 掲載意思の定期確認
- クレーム先の記載

まとめ：誠実な運用が最大の防御策



1. 3段階のペナルティ



2. 詳細理由の推測

信頼  誠実さ



3. 3大リスク要因



4. ポリシー遵守



5. AI活用

重要なのは『改善の意思と事実』

ご清聴ありがとうございました

健全なルール遵守が、 Indeed運用では重要です。

私たちクロスリンクは、貴社の採用活動が安定的かつ効果的に進むよう、
パートナーとして伴走します。

ご不明な点や運用に関するご相談はいつでもお声がけください

株式会社クロスリンク

お問い合わせ：kyujin@crosslink.jp.net